

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 1 区分

【発行日】平成23年6月16日(2011.6.16)

【公表番号】特表2009-534017(P2009-534017A)

【公表日】平成21年9月24日(2009.9.24)

【年通号数】公開・登録公報2009-038

【出願番号】特願2009-505697(P2009-505697)

【国際特許分類】

C 1 2 N 15/09 (2006.01)

C 0 7 K 14/705 (2006.01)

C 1 2 Q 1/02 (2006.01)

C 1 2 N 1/15 (2006.01)

C 1 2 N 1/19 (2006.01)

C 1 2 N 1/21 (2006.01)

C 1 2 N 5/10 (2006.01)

C 1 2 P 21/02 (2006.01)

【F I】

C 1 2 N 15/00 A

C 0 7 K 14/705 Z N A

C 1 2 Q 1/02

C 1 2 N 1/15

C 1 2 N 1/19

C 1 2 N 1/21

C 1 2 N 5/00 A

C 1 2 P 21/02 C

【手続補正書】

【提出日】平成22年4月16日(2010.4.16)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

ペリラルチンと結合でき、ペリラルチンにより活性化され得る T 1 R 2 - T M D 甘味受容体であって、1 または 2 以上の

配列番号 2 と実質的に相同なポリペプチド、

配列同一性によって決定される、配列番号 1 に記載のヌクレオチド配列と実質的に相同なヌクレオチド配列によってコードされるポリペプチド、

ハイブリダイゼーションによって決定される、配列番号 2 に記載のポリペプチドをコードするヌクレオチド配列と実質的に相同なヌクレオチド配列によってコードされるポリペプチド、

ヌクレオチド配列同一性によって決定される、配列番号 2 に記載のポリペプチドをコードするヌクレオチド配列に実質的に相同なヌクレオチド配列によってコードされるポリペプチド、

を含み、

ここで、実質的に相同なポリペプチドは少なくとも 74 % の配列同一性を有し、

配列同一性によって決定される実質的に相同なヌクレオチドは、少なくとも 65 % の配列

同一性を有し、および

ハイブリダイゼーションによって決定される実質的に相同なヌクレオチドは、50%のホルムアミド、5×SSC、および1%のSDSからなる溶液中での42℃の温度、ならびに0.2×SSCおよび0.1%のSDSからなる溶液中での65℃での洗浄のストリンジェントなハイブリダイゼーション条件下でハイブリダイズし、

ただし、T1R2-TMD受容体は1または2以上の

配列番号10または配列番号12と相同なポリペプチド、

配列同一性によって決定される、配列番号9または配列番号11に記載のヌクレオチド配列と相同なヌクレオチド配列によってコードされるポリペプチド、

ハイブリダイゼーションによって決定される、配列番号10または配列番号12に記載のポリペプチドをコードするヌクレオチド配列と相同なヌクレオチド配列によってコードされるポリペプチド、

ヌクレオチド配列同一性によって決定される、配列番号10または配列番号12に記載のポリペプチドをコードするヌクレオチド配列と相同なヌクレオチド配列によってコードされるポリペプチド、

を含まず、

ここで、配列番号10または配列番号12と相同なポリペプチドは少なくとも60%の配列同一性を有し、

配列同一性によって決定される、配列番号9または配列番号11に記載のヌクレオチド配列に相同なヌクレオチド配列は、少なくとも50%の配列同一性を有し、

ハイブリダイゼーションによって決定される、配列番号9または配列番号11に記載のヌクレオチド配列に相同なヌクレオチド配列は、50%のホルムアミド、5×SSC、および1%のSDSからなる溶液中での42℃の温度、ならびに0.2×SSCおよび0.1%のSDSからなる溶液中で42℃での洗浄の中程度にストリンジェントなハイブリダイゼーション条件下でハイブリダイズする、

前記甘味受容体。